



2026年7月3日

各 位

会 社 名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 金 本 彰 彦
(コード番号 : 2588 東証スタンダード)
問 合 せ 先 経 営 管 理 本 部 I R 部
(<https://premiumwater-hd.co.jp/contact/>)

経営方針説明会におけるご質問及び回答内容公開のお知らせ

当社は、2026年6月24日開催の第20回定時株主総会終了後、株主の皆様を対象に、代表取締役社長 金本による経営方針説明会を実施いたしました。当日は多くのご質問を賜り、誠にありがとうございました。

当社では、日頃より IR 活動の一環として、投資家及びアナリストの皆様からのお問い合わせに対し、メール等を通じて回答しております。今回の経営方針説明会においても、情報発信強化の観点から、株主の皆様から寄せられたご質問とその回答を、以下のとおり公開いたします。

なお、掲載している回答は現時点における当社の方針に基づくものであり、今後の状況により見解が変更となる場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

【ご参考資料】

2026年6月24日（水）開催 経営方針説明会

説 明 会 資 料 : https://xml.irpocket.com/C2588/2026/0624_01.pdf

2026年5月19日（火）開催 2026年3月期 決算説明会

書き起こし記事 : <https://finance.logmi.jp/articles/384829>

アーカイブ動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=3VymKSfT06o>

説 明 会 資 料 : <https://pdf.irpocket.com/C2588/fcDL/wSg0/WtV5.pdf>

以 上



PREMIUM WATER
HOLDINGS

**株主の皆様よりいただいた
ご質問及びご回答内容**

目次

■製品について P.3

■水源について P.9

■営業方針について P.4

■グループ会社の
ビール事業について P.10

■市場について P.6

※本資料内に記載のある「当社」は、連結子会社を含めた「当社グループ全体」を指す場合がございます。

また、文字数等の観点から、以下の表記になっている部分がございます。

「PWHD」：株式会社プレミアムウォーターホールディングスの略

「PW」：プレミアムウォーター株式会社の略

質問

近年の厳しい住宅事情を踏まえ、2～3リットル程度のボトルに対応した小型ウォーターサーバーをリリースする可能性はありますか？

回答

現在もカウンター等に設置可能な「卓上タイプ」のサーバーや、軽量の「7リットルボトル」を展開しております。ご提案の2～3リットルボトルについては、サーバーのタンク容量に対して一度の補充でボトル内の水を使い切ってしまう等運用上の課題（交換頻度の増加等）がありますが、サーバー自体のさらなる小型化や利便性向上については、今後の製品開発の検討課題とさせていただきます。



<製品例：スリムサーバー4>

サイズ

ロングタイプ：高さ1,294mm×幅270mm×奥行361mm

ショートタイプ：高さ821mm×幅270mm×奥行361mm

タンク容量

ロングタイプ：温水タンク1.8L/冷水タンク：1.8L

ショートタイプ：温水タンク1.4L/冷水タンク：1.8L

[参考] PWのHP

<https://premium-water.co.jp/news/20250625-3436/>

質問

親会社である光通信社との資本関係において、親会社の意向によりPWHDとしての経営体制が将来にわたり維持されなくなるリスクについて、どのようにお考えでしょうか。

回答

光通信社との関係性は非常に良好で、事業面でも多大なシナジーを享受しています。経営面においては、親会社から指示・介入を受けたことは一切なく、当社は上場会社として実効性の高いガバナンス体制のもと、強固な経営独立性を確保しております。今後も親会社との関係性を強みの1つとして事業拡大・業績向上につなげてまいります。

質問

営業活動は他社に委託しているのでしょうか。オンラインや量販店等、どこで契約するのが最も良いのでしょうか。また、販売店へのマージンはあるのでしょうか。

回答

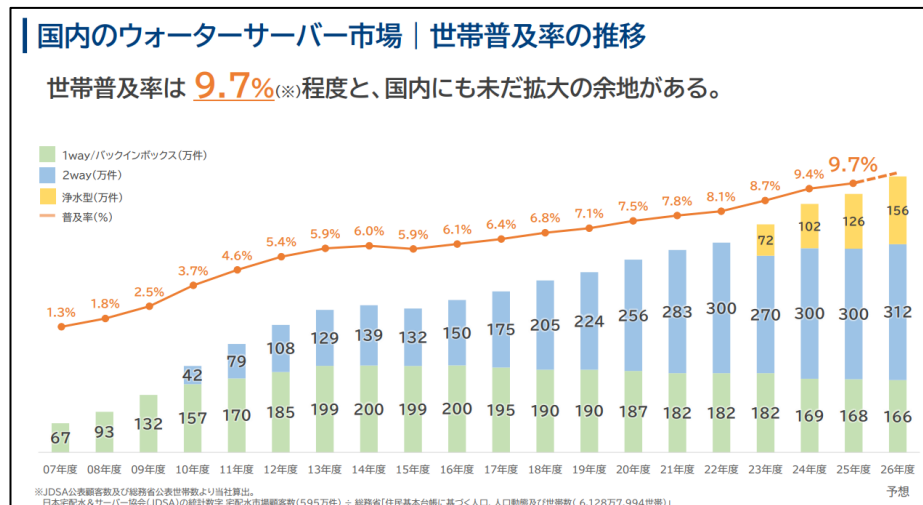
当社の営業活動は、主に当社グループの直販と販売代理店への委託の2つがございます。直販と代理店のどちらでご契約いただいても、ご案内するサービス品質やアフターサポートに違いはございません。窓口によって独自のキャンペーン（特典）が異なる場合はございますが、お客様にとっての実質的な経済的メリットに大きな差はございません。
また、販売代理店に対しては所定の手数料をお支払いしております。

質問

国内のウォーターサーバーの普及率は約9.7%とのことですが、これを20%、30%へ引き上げるのは何年先（5年、10年等）の目標・ビジョンなのでしょうか。現場のイメージや主観を教えてください。

回答

具体的な年数の明言は難しいですが、近年の水道水への不安、安心・安全な水に対する意識の高まりから、ウォーターサーバーの有用性は広く再認識されています。ペットボトル飲料と比較しても、冷温水が即時利用できる利便性という明確な強みがあります。今後、この利便性と安心感がさらに認知されれば、市場の普及率は20%、30%へと圧倒的に拡大するポテンシャルがあると考えております。



ミネラルウォーターの普及とともにウォーターサーバーも2000年ごろから急速に広まるようになりました。ウォーターサーバーの普及が加速した要因には震災も関係しています。

特に1995年の阪神・淡路大震災や2004年の新潟県中越地震、2011年の東日本大震災のあとは、ミネラルウォーターの生産が増加する傾向が見られました。

[参考] PWHのHP 「個人投資家向けIRセミナー」2026年6月20日

<https://premiumwater-hd.co.jp/ir/library/session.php>

[参考] PWのHP 「ウォーターサーバーの歴史とは？普及率を紹介します！」

<https://premium-water.net/feature/w20220725/>

質問

豊富な水源と優れた天然水の品質を活かし、ペットボトル市場へ参入する考えはありますか。

回答

ペットボトル市場への参入は過去に何度も慎重に検討を重ねておりますが、同市場は激しい価格競争が課題となります。一方で、ペットボトルの定期配送を望まれる方もいたり、海外市場においてはペットボトル飲料の成長性が高く見込まれるため、テストマーケティング等を通じて、最適な参入の仕方を引き続き慎重に検討してまいります。

質問

採水地を付加価値として天然水を販売している他社事例もあるようですが、貴社においてもブランド力を活かした商材の販売について何かお考えはありますでしょうか。

回答

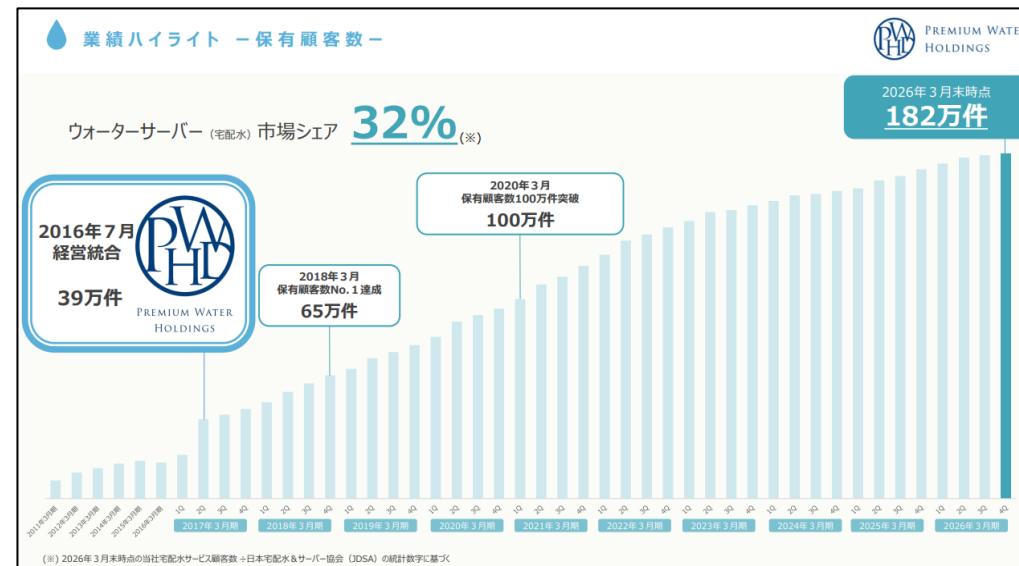
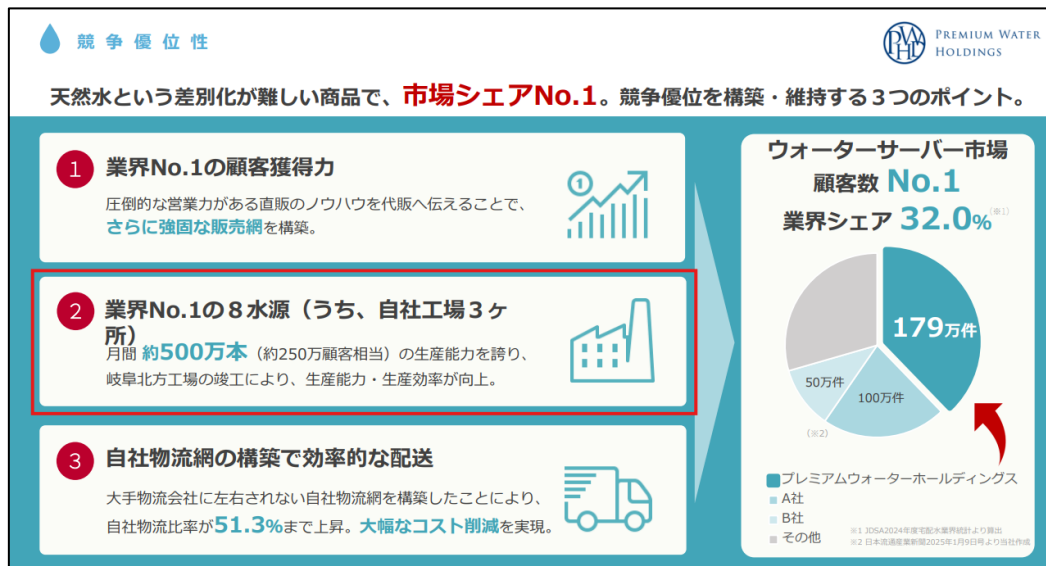
ブランド力を活かした高付加価値化のご提案、ありがとうございます。当社は天然水事業を主軸としつつ、既存ユーザーの満足度を高め、ライフスタイルを豊かにする新規事業・新規商材（水と親和性のある領域）を常に模索しております。いただいたご提案も踏まえて検討させていただきます。

質問

新たな水源の確保の計画はあるのでしょうか。

回答

現状保有している水源により、約250万ユーザーへの安定供給が可能な体制を構築しております。今後、ユーザー数が200万人に到達した段階で水源の拡充も視野に入れますが、OEM先の増加等も含め、最も効率的かつ収益性の高い手法を選択し、柔軟に対応してまいります。



[参考] PWHDのHP 「決算説明会資料」2026年5月20日
<https://premiumwater-hd.co.jp/ir/library/session.php>

質問

DREAMBEER（ビール事業）の戦略と今後の展開について教えてください。

回答

現在、安定的に新規顧客を獲得しております。自社工場を保有したため原価率が低いビールの製造が可能となり、高い営業力を活かして効率的にユーザーを獲得できる収益性の高いビジネスモデルです。現在はウォーターサーバー事業の初期段階と同様にストック（顧客基盤）を積み上げているフェーズであり、本格的な利益貢献までには今しばらく時間を要しますが、将来の成長事業としてご期待いただきたいと考えております。

1. 掲載された情報についてご注意いただきたい点

当資料を通じ、財務情報、経営指標等の情報の開示を行います。当社は、当資料を通じて情報開示を行うにあたり細心の注意を払っておりますが、当資料に掲載した情報について内容の正確性等を保証いたしません。当資料による情報開示は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終的な決定は、ご自身の判断でお願い致します。当社は、当資料に掲載された情報を利用したことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

2. 将来の見通しに関する事項について

当資料に掲載されている情報には、業績予測等の将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらはリスクや不確実性を内包するものです。業績予測等の将来の見通しに関する記述は、その実現性を保証するものではなく、当社を取り巻く経営環境や市場動向の変化等により、実現しない可能性があることにご注意ください。

3. 当資料の運用について

当資料は予告なく配布の中止や内容の変更を行うことがあります。当社は、当資料を利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、一切責任を負いません。

<お問い合わせ先>

株式会社プレミアムウォーターホールディングスHPお問合せページ内 「IR（株主・投資家情報）について」

<https://premiumwater-hd.co.jp/contact/>



PREMIUM WATER
HOLDINGS